

そよかぜだより

2016 11月号

そよかぜ歯科医院のURL
<http://soyokaze-dc.com>



十一月(霜月)

立冬も過ぎ、だいぶ気温も下がってきました。日中の日差しも弱くなってきました。本格的な冬もすぐそこに来ています。乾燥した空気の中にはインフルエンザやノロウイルスなどのウイルスも伝染しやすくなります。のどや鼻の粘膜の防御機能が低下するためですが、出来れば、人混みを避け、外出時にはマスクを着け、室内は加湿器などで50%~60%の湿度を保つのが良いですね。

基本的な事ですが、バランスの良い食事、十分な睡眠をとり、抵抗力を高め、帰宅時にはつがい、手洗いが感染予防の大事なポイントです。気を付けて、毎日適じつまごひ。



年末年始休暇のお知らせ

12月29日(木)~1月5日(木)

年末年始休暇の為、休診とさせていただきます。尚、1月6日(金)より通常通り診療いたしますのでよろしくお願い致します。

緊急の場合は、流山市休日診療室へ お願い致します。(9時~12時)

TEL 04-7155-3456

乳歯(小児)のむし歯特徴

今回は、子供のむし歯の特徴、特に乳歯のむし歯の特徴についてまとめてみたいと思います。永久歯と比較してどのようなことが言えるか、まず最初に挙げてみます。

第一に、乳歯と永久歯の歯の構造上の違いとしてエナメル質の違いが挙げられます。エナメル質の厚さが約2~3倍違います。エナメル質は身体の中で最も硬い組織と言われており、歯を守る組織でもあります。その大部分はカルシウム、リンなどの無機質で構成されます。この無機成分は乳歯では永久歯と比較してやや少ないようです。すなわち歯を守る組織が薄く、柔らかいことが分かります。

第二に摂取する食物が大人と比較して酸性を示すものが多いと言われています。特に、甘味を好むため、甘味料によつて酸性に変化するため、摂取には考慮する必要があります。しかしながら、むし歯になり易いシロ糖に関しては脳に対して良好であるため、摂取において無視することはできません。そのため、摂取の仕方、特にタマリンドの食べ方は禁物です。

第三に子供の場合、自身でのブラークontrolが難しいため、保護者のデンタルケアによって大きな差が出る言われます。さらに最近では、働く女性の進出で共働き家庭が増加する結果、子供が保育施設や祖父母に預けられる時間が多いため、預かる側のデンタルケアも重要と考えられます。

このように子供のむし歯は罹患したら組織学的に進行が早く、あっという間に大きくなります。これを専門用語で急性う蝕といいます。そのため、罹患させないようしっかりとブラークontrol、食物の摂取に充分に配慮することが重要です。



急性に進んだう蝕の一例

勤労感謝の日



11月23日は、勤労感謝の日ですね。勤労感謝の日とは、国民が勤労を尊び、生産を祝い、互いに感謝し合う日と1948年に法律で定められた日です。戦前11月23日は「新嘗祭」[にいなめさい/しんじょうさい]で農作物の恵みを感じる日でした。日々の労働に対して「農作物」という形のあるものが目に見えて返ってくることが少ない現代で、勤労の目的を再認識する日という意味がこめられているそうです。働くことは素晴らしいことです。沢山の色々なものが生み出されます。そしてこの日はいつも一生懸命働いている隣人、自分にご褒美をあげましょう!

院長のさ

夕暮れの間も早くなり、寒さも一段と厳しくなってきました。最低気温も10℃を下まわる日も多くなり、街路樹の木々も真っ赤に色付きはじめました。

当医院のスロープは今月からイルミネーションをつけました。パレンタインの頃まで行おうと考えています。今年も残り2カ月を切り、これから忘年会シーズンに入ります。この時期、体調を崩す方も多く、歯も例外ではありません。

さらに、これからインフルエンザが流行する季節でもあります。予防接種、マスクの着用、さらには、お口の清掃をしっかり行うことで充分に防御できるというわけでもありません。

さらに、美味しい食べ物が多くなる季節でもありますので美味しく召し上がれるようにお口の健康をたもってください。